

# 道教組

2020年5月25日発行

DOKYOSO NEWS VL.571

教職員とその家族を守る  
全教自動車保険

## 5つの特徴

- ①無事故割引を引き継ぎます
- ②団体扱い割引を10%に拡大
- ③家族の車もまとめるとさらに割引
- ④退職者もメリット引き継ぎで安心
- ⑤申し込んだその日から安心

有限会社 川上企画

(道教組指定代理店)

札幌市中央区大通西12丁目4-78

TEL:0120-222-789 FAX:011-218-2472

## 全北海道教職員組合 緊急！ オンライン学習会 学校再開後の 学校づくりを考えよう

北海道では、新型コロナウイルス感染予防のために4月半ばから学校は臨時休校となっています。こうした中で、各学校ではコロナウイルスが収束したあとの本格的な学校再開に向けて、子どもたちが笑顔で学び合うための方策を検討しはじめています。私たちが大切にしている「協力・協同の学校づくり」ということを改めて確かめ合い、学校再開後の学校づくりに展望を持ち合うために、緊急のオンライン学習会を企画しました。この機会に、ともに学び合ひましょう！

日時 2020年5月16日(土)13:00~14:30  
場所 みなさんそれぞれの場所です。オンライン会議「ZOOM」によるインターネット会議で行います。  
参加費 無料  
対象 学校づくりについて興味をもった学校の教職員のみなさん  
内容 学校づくりについてのリレートーク  
(1)文科省通知をもとに時数確保や教育課程づくりを考える  
(2)一斉休校にかかわる子どもたちのいま  
(3)コロナ明けを模索しながら工夫している学校づくり  
(4)オンライン授業や少人数指導などと教育条件整備について  
申込 事前申込が必要です。申し込みいただいた方に、ZoomのミーティングIDとパスワードをお知らせします。  
(1)Facebookによる申込  
道教組 Facebook ページのイベントから申込。  
(2)メールで申し込み  
dokyoso@seagreen.ocn.ne.jp へ、氏名・所属を記載の上、メールを。

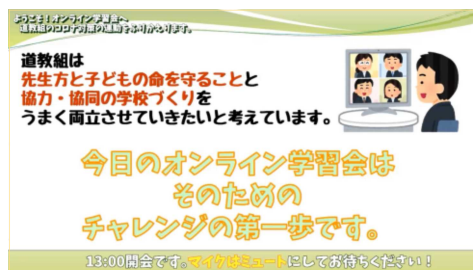
全国各地から約50名が参加

5月16日に、新型コロナウイルス対応による臨時休校が明けてからの学校づくりに展望を持つことをめざして、緊急オンライン学習会を行いました。4つの観点でリレートークを行い、学校再開後の学校づくりについて約50名の参加者と確かめ合いました。

## コロナ問題に関するオンライン学習会 学校再開後の学校づくりについて リレートークで確かめ合いました

### ① 文科省通知をもとに時数確保や教育課程づくりを考える

内藤副委員長が担当。相次ぐ文部科学省通知の中で、学校再開後の時数確保や教育課程づくりに関することに注目し、必要な部分を取り出して、いねいに読み解きながら、各学校で、今後の教育課程づくり、私たちが大切にしていききたい教育条件を確かめ合っていくことについて材料を示しました。



### ② 一斉休校にかかわる子どもたちの「いま」

全教渡島、藤澤淳さんが担当。子どもたちの書いた手紙や詩を示しながら、学校で学ぶことの意味、これからの学校づくりへの思いを話しました。いまの状況が、学校は目標、将来のためとすり込まれ、将来のために今の犠牲は

### ③ コロナ明けを模索しながら工夫している学校づくり

しようがないと思わされてきたことを問い直すきっかけになっているのではないかと感じています。そして、学ぶことは今を生きることであると子どもたちが感じていることを、私たちが自覚させ、形にしていけることを大事にしたいと話しました。

### ④ オンライン授業や少人数指導などと教育条件整備について

斎藤書記長が担当。オンライン授業や、いわゆる「三密」を避けるための少人数指導などについて、文科省や道教委の通知を読み解きながら、長期的な展望も持って、私たちが考えていくべき教育条件整備についての議論の土台となる材料を示しました。



# 学校再開等に向けた緊急要請書

## 少人数学級などの条件整備や、

## 教育課程の弾力的運用などを求める

道教組は、これまで、道教委に対し、コロナ感染症に伴う様々な対応について、再三の要請行動を行っています。

5月19日には、ゆきとどいた教育をすすめる北海道連絡会を構成する4団体（道教組、道高教組、道労連、新婦人北海道本部）で、緊急要請書を知事と教育長宛に提出しました。

長期化が想定される新型コロナに対応できるような少人数学級などの条件整備をすること、各学校で児童生徒の実態に応じた教育課程の弾力的運用を尊重することなどを求めました。

要請内容について、道や道教委は、「担当課に伝える」としながらも、その場で具体的な見解は示しませんでした。条件整備などの対応については、今後とも求め続けていきます。

要請書を提出したあと、

記者会見を行いました。私たちの要請について、新聞やテレビでも報道されました。



### 道と道教委への要請内容（概要）

- ◎ コロナ感染が長期間にわたるという懸念を提言をふまえ、長期的な視野で必要な条件整備を行うこと
- ・ 20人学級が可能となるような条件整備を行うこと
- ・ 学校、家庭ともにネットワーク環境整備について国の予算措置を待たずに速やかに行うこと
- ◎ 教育課程の編成・実施において、各学校の弾力的な運用を尊重し、そのとりくみを最大限支援すること
- ・ 「学習活動の重点化」については、各学校の実態をふまえた判断に任せること
- ・ 「授業コマ数の増加」等については、子どもたちの負担や教職員の勤務が過重とならないようにすること
- ・ 新学習指導要領の一部を実施しないことを可とするなど、文科省に要請すること
- ◎ 教職員の勤務や感染防止対策のため必要な対応をおこなうこと
- ◎ 収入が激変した世帯の子どもたちの教育を受ける権利を保障すること
- ◎ 大学進学や就職等、進路保障に関して、今年度の卒業生に不利益が生じないよう必要な措置を講じること
- ◎ 「1年単位の変形労働時間制」の導入にかかわる制度の議論は感染終息まで行わないこと

## メーデー北海道集会

## 史上初、ライブ配信

## により集会を開催！

メーデー北海道集会は、コロナ感染症の影響で、大規模集会を開催できず、YouTubeのライブ配信による開催となりました。

メッセージボードを活用した要求メッセージフォトコンテスト、各界の60秒スピーチなど、これまで屋外集会で行ってきた内容を配信し、オンラインで集会参加ができるものです。

集会には、せやろがいおじさんからのメッセージ動画も寄せられ、楽しい集会となりました。

メッセージフォトコンテストでは、道教組の柳書記がグランプリを受賞。感動的なメッセージと写真に大きな反響がありました。



要求メッセージフォトコンテスト  
グランプリ受賞作品 柳憲一さん  
「安心して子育てできる社会にしたい」

## 道教組青年部

## ZOOMの使い方

## 練習会を開催

道教組青年部は、Zoom使い方を練習会を企画し、5月23日に開催しました。全道各地から17名が参加しました。オンラインでの会議や学習会の機会は、今後ますます増えていきます。

Zoomを使用した会議や学習会をスムーズに開催できるよう、内藤副委員長を講師に学習しました。



## 組合づくりを進める人のZOOM使い方練習会

コロナ対策で、教職員組合運動に実態に「集まる」ことが難しくなっている、もう3か月がたちます。こうした中でも私たちは「オンライン会議」で画面の前に集まることができます。

いま、話題の「ZOOM」を使った学習会や会議を企画するために、進行役になった機能を操作してみよう。

日時 2020年5月23日（土）13:00～14:30  
内容 ZOOMの各機能を実際に使ってみよう。  
講師 内藤 修司さん（道教組委員長）  
申込み Facebookのイベントからどうぞ。



主催・お問合せ 全北海道教職員組合青年部  
〒060-0809 札幌市中央区南一条西17丁目2-22  
TEL 011-742-0101 FAX 011-742-0102